

# 紫波 2003

SHIWA TOWN SINCE 1955  
環境と福祉のまちづくり情報誌

【No.625】  
6月号



## 変わる！ 紫波高校と 特集 県立高校入試



変わる 紫波高校 / 紫波高校が総合学科へ  
変わる 県立高校の入試  
情報掲示板 / まちのわだい  
フォト・歳時記 / 町内中高生の作品

# 中心市街地活性化に あなたのアイデアを！

作業部会員三人を一般公募

町では中心市街地の利便性を高め、商業の活性化を図るために、「中心市街地活性化基本計画」を策定します。

この計画を策定するにあたり、ワークシopp、視察などで研究した概要を提案する作業部会を設置します。この部会は消費者、知識経験者、商工関係者で構成されますが、部会員を次のとおり公募します。

【募集人員】三人

【委嘱期間】委嘱の日から平成十六年三月三十一日まで

【応募資格】安全に買い物ができる楽しいまちづくり

に関心があり、月一回程度のワークシopp、会議に出席できる人  
【応募方法】電話で問い合わせたい人、応募様式を送付します。

【応募締切】六月二十五日（水）当日消印有効  
【その他】選考結果については六月下旬に通知します。

【問合せ】商工観光室 ☎672 2111

内線3243 有線018891



「CO<sub>2</sub>削減・百万人の環」  
キャンペーン

## 夏至の夜 二時間消灯を！

環境省（環）の国ぐらし会議は、夏至の六月二十二日（日）、二十時から二十二時までの二時間、各家庭が照明を一齐に消すというキャンペーンを展開します。  
これを機にみなさんもいっしょに省エネに取り組んでみましょう！

### 町長メッセージ 紫波町版トレーサビリティとまちづくり

トレーサビリティは生産・流通過程を明らかにすることによって、消費者が安心して食品を購入できる手段です。近年BSE問題や食品の偽装表示などの事件を契機に、安心して食べられる食品が見直されていますが、その中でトレーサビリティに注目が集まっています。

今年、町で構築する紫波町版トレーサビリティは、町の豊かな農地から生まれる安心・安全な農産物について農業者とその生産過程、農地の状況などの情報をまとめ、公開していく町独自の仕組みです。

当町では三年前から循環型まちづくりを進めています。今年完成した「えこ3センター」では、町内で排出される家畜の糞尿や食品残さなどを資源化し、農地や花壇に還元していく事業が始まったところであり。町内で生産した農産

物を、初めに学校給食として将来を担う子どもたちに食べてもらいます。次に町内の産直や小売店での販売により町内の消費を拡大していく地産地消を進めます。さらにその後は、紫波えこ3ブランドの農産物として広く販売できるよう期待するものです。

循環型まちづくりで活気に満ちた町、元気はつらつとした暮らしができる町を目指します。町民アンケートでは、「食」「運動」「いやし」に大きな関心が寄せられています。地産地消は安心で風土に合った食であり、さらに自分に合った運動を行い、花を愛し、学習に努め、全町民が心豊かに過ごせるよう共に頑張りましょう。

（藤原 孝）

目次

特集	変わる!紫波高校と 県立高校入試	3
	変わる 紫波高校	4
	紫波高校が総合学科へ わたしはこう思う	6
	変わる 県立高校の入試	8
	情報掲示板	11
	まちのわたい	12
	フォト・歳時記	16
	町内中高生の作品	16

紫波高校が

平成 16 年度から総合学科に



変わる！  
紫波高校と  
県立高校入試

# 変わる!

県立高校入試が平成 16 年度

から2日間に



# 変わる

夢・希望・理想の高校を目指して



# 紫波高校

「自分の将来は自分で決める。」「好きな分野を思い切り勉強したい。」「生徒一人ひとりには豊かな個性があります。それに適切に対応するため高校の学科制度を再編成し、自由で柔軟に学習できる学科として総合学科が誕生しました。そして私たちの町にある紫波高校も平成十六年度から紫波総合高校(仮称)として生まれ変わります。」



新校舎は現在の紫波高校のグラウンドに建てられる予定



新校舎の建築予定図

これまでの高校は国語、数学など普通科目を中心に学ぶ「普通科」、農業や商業など専門科目を中心に学習する「専門学科」の二本立てで行われてきました。それに続く第三の学科として、普通教科と専門科目を選択して学習できる総合学科が平成十六年度に創設されました。昨年度までに県内公立では岩谷堂高校、私立では盛岡スーレの二校が、全国では百八十六校が総合学科となっています。十六年度からはさらに県内で紫波高校はじめ、五校が総合学科になることになっています。国は通学範囲に少なくとも一校設置することを目標にしています。

ここでは興味や関心のある分野を思う存分学習し、個性を伸ばすことを目的としています。生徒自身が将来に向かって自分を何をやりたいのかを考えながら、自分で科目を選択し時間割をつくり学習していきます。そのために総合学科高校では幅広い選択科目を用意しています。

紫波高校の場合、人文科学系列、エロジー・フード系列など七系列それぞれに十から三十以上の専門教科があります。たとえば将来福祉関係の大学に進み福祉士になりたい人はライフデザイン系列やスポーツ・健康系列で家庭看護・福祉などの科目を二年・三年で選択していくことが考えられます。

また、総合学科は生徒それぞれの進路に対応するため、各科目の専門の講師陣をそろえ、学習環境を整える必要があります。現在の紫波高校校舎は昭和四十六年の火災の後建てられたものですが、その北側のグラウンド部分に平成十六年の冬完成をめどに新校舎が建設されます。玄関近くには図書館が配置され、二百人以上を収容できる大講義室も作られます。専門的なコンピュータ室は資格取得、デザインなど用途別に使われ、さまざまな実習にも対応できる教室も用意され、学習環境の充実はトップレベルともいえるようになります。

総合学科には学区制がないので、期待をもって生徒たちが町外から集まってくるのが予想されます。紫波の地で学ぶ多感な時代の三年間が充実したものであるよう見守っていききたいものです。



**少人数指導**  
幅広い選択科目を  
開設しているので  
少人数で授業



**幅広い選択科目**  
興味や希望に応じて  
先生のアドバイスを  
受けながら自分で選択



**単位制の採用**  
自分で学びたい科目を  
自らの学習計画で  
卒業時まで学ぶ



**充実した進路指導**  
「産業社会と人間」という  
科目で、進路についての  
学習を深めた後、個別指導



現在の校舎は取り壊されグラウンドに

単位制を採用する総合学科では  
科目は次のように大きく分類されます。

#### 必修科目

すべての生徒が必ず履修しなければならない科目です。1年生で学ぶのは、ほとんどのこの科目です。

#### 選択科目

各系列の専門性に応じて選択する科目です。2年生や3年生では選択科目が中心です。



#### 卒業【進学、または 新たな目標へ】

自分自身が見つけた道  
を進むための次のステップ  
になります。

#### 2年生・3年生【自己錬磨 そして進路実現】

将来の進路や興味・関心に応じた  
科目を中心に自分で時間割を作って  
学習します。

#### 1年生【自分発見、 そして再出発】

「産業社会と人間」の時間  
などで自分の将来のあり方、生  
き方を見つめ2・3年次の選択  
科目を考えます。

大学・短大  
専門学校

公務員  
一般企業

農林水産  
などの自営業

**人文科学系列**  
文学・外国語(国際)、教育などを学ぶ

**マルチメディア系列**  
情報システム、マルチメディアなどの情報系

**自然科学系列**  
理学や工学系に進みたい人へ

**エコロジー・フード系列**  
農学や食品科学系を实践

**スポーツ・健康系列**  
体育や医療福祉、生涯スポーツ系

**ライフデザイン系列**  
デザインや生活など家政系

**ビジネス経済系列**  
経済や経営、商学などの視野を広める

#### ◎ 普通教科

国語総合  
倫理  
数学  
理科総合AB  
体育  
保健  
音楽・美術・書道  
オーラル  
英語  
家庭総合

#### ◎ 専門教科

農業科学基礎

## 【総合学科の三年間】



# 紫波高校が総合学科へ わたしはこう思う

紫波高校では、総合学科説明会を各中学校で開催しています。紫波二中の三年生保護者を対象として行われた五月三十日の説明会には、七十人ほどの保護者が参加し、新たな高校の概要に熱心に耳を傾けていました。県内公立では二番目の総合学科に皆さんはどんな印象を受けたのでしょうか。説明会終了後、数人にお話をうかがいました。



フォト・アルバム  
現在の紫波高校



総合学科としての新たなスタート  
さらなる前進で理想の学校づくりを

県立紫波高等学校 後藤利一校長



本校は、ご存じのように創立以来七十四年もの歳月を重ねる県央の伝統校であります。本校の卒業生は一万五千余名の多くを数え、地元はもちろんのこと全国各地において活躍されております。

さて、本校はこのたび県の高等学校新整備計画により、平成十六年度から総合学科高校として新たな歩みを刻むこととなります。

振り返れば、平成十三年八月三十一日の第一回整備検討委員会をスタートに、今年二月二十八日の最終検討委員会まで六回を数える整備検討委員会を開催し、新生紫波高校はいかにあるべきか検討を重ねてきました。校内においても、「そこで学びを完結してしまう学校とはしない」との前提のもと、先進校視察など実施しながら、系列、教育課程、施設・整

備ほか、教育理念を実現するための基盤整備に鋭意取り組んでおります。新校舎は、約一万平方メートル、現校舎は五五〇〇平方メートル、地域開放をも念頭に置いた電子図書館、大講義室など、近代的設備を持った四階建てのすばらしい校舎です。今年度着工し、平成十六年度末に完成予定になっております。

今後とも、現在学んでいる六百五十三人の生徒諸君に対するさらなる教育の充実を図りながら、教職員一丸となって、生徒一人ひとりが多様な体験や学習を通じて自ら進路実現に向い、主体的に意欲を持って取り組みのできる理想の学校づくりに邁進する覚悟であります。

紫波町民皆さま方の一層のご支援をお願いいたします。



**総合学科になり人気が高まるのでは**  
 これまでの学区制がなくなるので、各地から入学志望者が増えることで倍率が高くなり、紫波町の子どもたちが入りずらくなるのではないかと心配です。校舎も新しくなりすばらしい学習環境が整うのですから、きっと人気になるでしょうね。(上平沢)

**視野の広がり期待。前例ない点が不安**  
 総合学科ということで、これまで以上に子どもたちの視野が広がるだろうととても期待しています。その半面、わたしたちの子どもが総合学科の一期生になるわけで、前例がないところに入学するのはとても不安です。さらに上の学校への進学を目指すということですが、高校を修了した時点でどれだけの実力がついていっているものなのでしょうか。(水分)

**きめ細やかな対応と情報提供を**  
 高校で学習している間に、希望進路が変わることもあると思います。学科も多いのでそれぞれに優秀な講師をそろえていただいて、きめ細やかな対応や指導をしてくれるようお願いしたいです。学科の内容についても決定になり次第詳しく知らせてほしいと思います。(片寄)



**与えられたチャンスを手にかかしてほしい**  
 紫波三中進路指導担当 櫻庭道子先生  
 高校に入学してから自分のやりたいことに合わせて授業を選択できるということは、じっくりと自分の今後のことを考えられる機会を与えられているといふことでもあり、とても理想的だと感じます。半面、自分で選んだり、決定したりすることがまだまだできない子もいるのでそれも心配です。三年間を充実させたものにできるかどうかは



**本人次第なのだと思います。**  
 今まで与えられたものの中で生活してきた、「言われたことはやる。でも言われたことしかやらない。そして言われなければやらない」といふ子どもたちは、自分の将来のことを考えることが苦手です。だから総合学科といふシステムを上手に利用してくれることを期待しています。  
 高校受験は子どもたちにとって大きな壁です。その子なりに努力して乗り越えて行ってもらいます。



# 変わる 県立高校の入試

一人ひとりの意欲と個性を大切に



平成16年度から県内の県立高校の入学者選抜が大きく変わります。これは県教育委員会が、学校や各市町村、PTAなどの関係者で構成する委員会を設置し、説明会などをおしてまとめた報告から決定したものです。そのおもな変更点をご紹介します。

## 高校入試は2日間で実施 学力検査のほかに調査書・面接なども重視

2日目は面接を行います。この面接に、2・3年生のときの9教科に関する評定などが記載された調査書、高校によっては作文・小論文・実技などを合わせて500点満点になります。

調査書、2・3年生の評定 330点  
面接など 170点

面接など (調査書も含む) 500点

### 2日目 面接など



「学力検査」は5教科各100点として500点満点です。ただし英語に関しては、2日目に行われる口頭での「質問と応答」が加わり、筆記試験と合わせて100点になります。また2日目の面接に使われる「自己アピールカード」の記入も行います。

### 1日目 学力検査

### 普通科の学区も変更

平成16年度からは、紫波町周辺の学区は左地図のようになります。学区外からの受け入れはこれまでの15%から10%に変更になります。



平成十六年度からの入学者選抜では、すべての受験生が二日間にわたり学力検査と面接を行います。新たに設けられた面接は、保護者や中学生から要望が多かったもので、志望の動機や学習に対する意欲・態度、高校生活への抱負などを確認するものです。面接・調査書などの加点により、これまで行われていた推薦入学選抜は廃止になります。また国際共通語の性格を強めている英語は、口頭での簡単な応答試験も行います。

## 自分の力を大きく 伸ばせる高校の選択を

紫波町教育委員会教育長  
川村秀彦

県立高等学校の入学試験の方法が平成十六年三月から変わります。県教育委員会の発表によりますと、入試の改善点の内容は、基礎学力をより一層大切にする学力検査と、生徒の意欲や関心態度を重視したものとなっています。そして試験科目については一人ひとりの生徒をよく理解するために二日間わたって実施されます。

さらに、県立高等学校普通科の通学区域も変更になります。昭和二十年代から平成十五年度までの長い間、岩手県では小学区制を実施してきましたが、交通網の発達や進路希望の多様化など時代に対応し、受験生の学校選択の幅を拡大させることから平成十六年度からは中学区制を採り、県内八学区となりました。紫波町は今までは紫波学区でありましたが、新年度からは盛岡を中心とした学区になります。なお、今までの普通科の学区外者の定員は二〇パーセント以内でしたが、新年度からは一〇パーセント以内となります。

町内唯一の県立紫波高等学校は、新年度から幅広い生徒の進路にこたえられる総合学科高校に生まれ変わります。

ります。

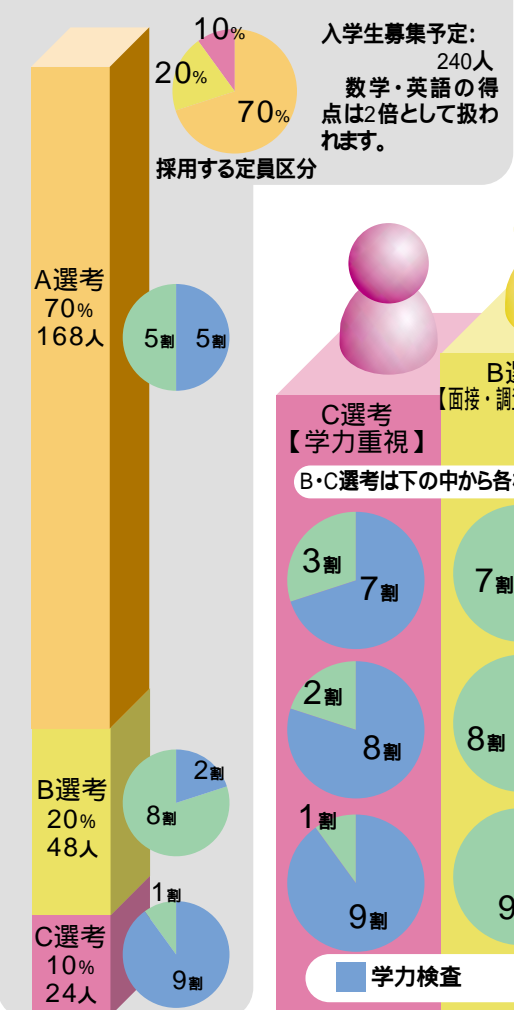
さて、県内の高等学校は、公立・私立を問わずどの高等学校もそれぞれ優れた特徴を持っています。では、自分にとって一番良い高等学校とは、どのような学校でしょうか。それは、現在持っている能力をこれからの高校三年間の学業生活で、最も大きく伸ばしてくれる学校がその生徒にとって一番良い学校です。中学生諸君は、数ある高等学校の中から最も自分に合った学校を選んで進学しなければなりません。高等学校は中学生諸君が選ばれて入学するのではなく、諸君が高等学校を選んで入学するところです。

町内の生徒一人ひとりが、自分の力を大きく伸ばすことのできる高等学校を見つけて進学し、希望のある高校生活を送ることを願っています。

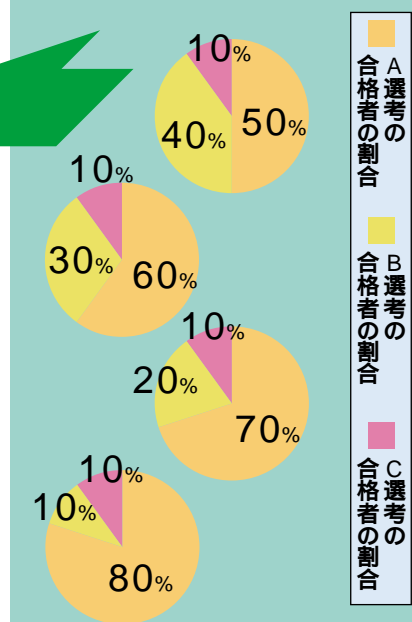


## 試験後 3段階に分けて 合格者を決定

### 平成16年度 紫波総合高校の場合(予定)



A・B・C選考を合わせて合格者を決めます。その割合は下のとおりですが、いずれにするかは各学校で決定します。



# 学校別 入学者選抜 予定一覧

今回の入試改正の方針は、基礎学力の確  
認と個性を重視した選抜方法」となってい  
ます。  
これまで五教科三百点満点と内申書で  
選考されてきましたが、改正後はまず学  
力検査と面接、調査書(含む)の割合を半分  
にしたA選考で、次に面接重視のB選考、  
最後に定員の1割がC選考で選ばれます。  
普通科の学区制は、中学区制(ハペーシ  
地図参照)に変わります。これまで紫波町  
は旧紫波郡内の高校のみで盛岡市内の高  
校に入る場合不利な点もありましたが、  
今回の改定で解消されます。

学区内の高校の選考方法が左の表です。  
花巻北、花巻南は学区外ですが、町内か  
ら受験する生徒が多いので掲載しました。  
なお学区外からは定員の10%まで入学  
できることになっています。  
専門学科については以前から学区制はあ  
りません。また、盛岡市立高校は希望進路  
により普通科にコース制を設けるなど、独  
自の特色を出していきますが、紫波町は学  
区外となります。  
平成十六年度の入試については十月下  
旬に詳細が正式決定になり、各中学校か  
ら生徒、保護者に説明されることになら

学校名	学科名	学系・ コース	定員	A・B・C 選考合 格者の割合			学力検査と調査書・面接 などとの比率			
				A	B	C	B 選考		C 選考	
							学力検査 の比率	調査書・面接 などの比率	学力検査 の比率	調査書・面接 などの比率
盛岡第一	普通		280	8	1	1	3	7	7	3
	理数		40	8	1	1	3	7	7	3
盛岡第二	普通		240	8	1	1	1	9	9	1
盛岡第三	普通		320	8	1	1	1	9	9	1
盛岡第四	普通		320	8	1	1	1	9	9	1
盛岡北	普通		320	8	1	1	3	7	7	3
盛岡南	普通		240	7	2	1	3	7	7	3
	普通	体育コース	40	6	3	1	2	8	8	2
	体育		40	5	4	1	2	8	8	2
不来方	普通	人文理数	280	8	1	1	1	9	7	3
		芸術	40	5	4	1	1	9	7	3
		外国語	40	8	1	1	1	9	7	3
		体育	40	5	4	1	1	9	7	3
盛岡農業	生産科学		40	5	4	1	1	9	7	3
	農業活用		40	5	4	1	1	9	7	3
	森林科学		40	5	4	1	1	9	7	3
	生物工学		40	5	4	1	1	9	7	3
	食品科学		40	5	4	1	1	9	7	3
	生活福祉		40	5	4	1	1	9	7	3
盛岡工業	機械		40	7	2	1	3	7	9	1
	電気		40	7	2	1	3	7	9	1
	電子情報		40	7	2	1	3	7	9	1
	電子機械		40	7	2	1	3	7	9	1
	工業化学		40	7	2	1	3	7	9	1
	土木		40	7	2	1	3	7	9	1
	建築		40	7	2	1	3	7	9	1
	デザイン		40	7	2	1	3	7	9	1
	商業		40	7	2	1	3	7	7	3
盛岡商業	会計		80	7	2	1	3	7	7	3
	事務		80	7	2	1	3	7	7	3
	情報処理		80	7	2	1	3	7	7	3
	国際経済		40	7	2	1	3	7	7	3
	沼宮内	普通		120	8	1	1	1	9	9
葛巻	普通		120	5	4	1	1	9	7	3
平館	普通		120	8	1	1	3	7	7	3
	家政科学		40	8	1	1	3	7	7	3
雫石	普通		120	6	3	1	3	7	7	3
紫波総合(仮)	総合		240	7	2	1	2	8	9	1
花巻北	普通		280	8	1	1	1	9	7	3
花巻南	普通	人文自然	160	8	1	1	3	7	7	3
		スポーツ健康	40	5	4	1	1	9	7	3
		国際科学	40	8	1	1	3	7	7	3
花巻農業	生物科学		40	5	4	1	2	8	8	2
	環境科学		40	5	4	1	2	8	8	2
	食農科学		40	5	4	1	2	8	8	2
花北青雲 (花北商業)	ビジネス情報		80	6	3	1	3	7	7	3
	情報工学		40	6	3	1	3	7	7	3
	総合生活		40	6	3	1	3	7	7	3
大迫	普通		80	8	1	1	3	7	7	3

最終的に確定したものは平成 15 年秋に示される予定です。

## 学校見学会も実施しています

各高校では受験を考えている中学生と親(高校によって  
は一般の人)を対象に学校見学会を実施しています。  
関心のある人はそれぞれの高校に直接お問い合わせくだ  
さい。

います。予定では来年の三月九、十日が選  
考試験、十七日が合格発表です。子ども  
たちにとっては初めての人生の選択とも言  
うべきこの日にむけて、一日一日を大切に  
過ごしてほしいものです。



## iモードやパソコンで 雨量・川の水位情報を

国土交通省河川局では、自然災害から暮らしを守るためiモードで情報が得られる「川の防災情報」を提供しています。このサービスは、全国または各県の雨量状況を10分単位で更新するほか、一級河川の水位情報も提供しており、増水などへの備えができる便利なものです。iモードメニューからInternet（インターネット）を選び、次のURLを入力してアクセスしてください。

**iモード URL** <http://i.river.go.jp/>



□ 河川情報  
□ お知らせ  
□ 提供情報について  
□ ご意見/ご要望

**その他** パソコンからもアクセスできます。URLが異なりますのでご注意ください。

<http://WWW.river.go.jp/>

## 郷土の詩人・音楽家 藤原嘉藤治の音楽会

紫波町出身の詩人・音楽家で、宮沢賢治の親友として彼の全集や童話本の出版に情熱を注ぎ、戦後は賢治の精神を実践に移して農業に生きたのが藤原嘉藤治です。嘉藤治山の音楽会実行委員会ではその功績を偲び、嘉藤治が切り開いた東根山ふもとの野原で劇や歌、詩などを楽しむ「第2回かとうじ山の音楽会」を開催します。

当日は嘉藤治がモデルになったといわれる「セロ弾きのゴーシュ」の野外劇や、彼の人となりを紹介しながら叙情歌・童謡・唱歌の合唱などが行われます。

**期日** 7月5日(土) 午後3時~5時

**場所** ヴューガーデン野外広場(水分神社入口付近) 雨天の場合はラ・フランス温泉館湯楽々交流プラザ紫波で行います。

**参加料** 無料

**問合せ** 水分公民館 ☎673-8222  
有線02-3524 / 共同園芸 ☎672-3255

**その他** 7月5日(土)~21日(月)までの午前10時~日没まで「第3回藤原嘉藤治パネル展」をヴューガーデンで開催します。こちらも入場無料です。

## ヤミ金融と多重債務の 相談会のお知らせ

長引く不況に伴い収入が減少する中で、ヤミ金融からの借入トラブルがここ数年、急増しています。

ヤミ金融は、法律を無視した利息を請求し、返せないとなると自宅、勤め先などに現れ、本人だけではなく関係者にも脅しをかけ、取立てをする悪質な金融業です。

「連絡先090-xxxx-xxxx(携帯電話)」、「即日融資します」などと書かれたチラシは絶対に信用しないでください。

すでにヤミ金融から借りてしまい、トラブルに巻き込まれている人は、警察・弁護士会・岩手県消費者信用生活協同組合(☎653-0001)へ相談してください。

やむをえない事情により消費者金融から借入れ、返済が滞り、返済のためにまた借金と、雪だるま形式により多重債務となってしまうケースも多くなっています。早めに信頼できる機関に相談しましょう。

町では、ヤミ金融・消費者金融とのトラブルで困っている人を対象に「多重債務に係る相談会」を行います。

**期日** 7月5日(土) 午後1時~5時

**場所** 紫波町商工会館

**申込・問合せ** 商工観光室 ☎672-2111 内線3242 有線01-8891

岩手県消費者信用生活協同組合の相談員が対応しますので負債残高・支払い状況・契約内容のわかるものをご持参ください。事前にご連絡いただければ、時間調整をいたします。

## 紫波町民劇場の脚本を募集します

来年7月上旬に4回目の公演を予定している「紫波町民劇場」の脚本を募集します。テーマは町の歴史や文化、伝記など紫波町を舞台としたものであれば、ジャンルは問いません。また原作など大まかなストー

リーでも構いません。皆さんふるってご応募ください。

**募集締切** 9月30日(火)

**問合せ・応募** 生涯学習課(中央公民館) ☎672-3372、☎672-1553



# 事故や火災からまちを守ろう

消防演習・6/1 学童安全連絡所勉強会・5/13

## ぬかるみの中 真剣に演習開始

今年の消防演習は前日の大雨により、かなり足元がぬかるむ悪条件



でしたが、ラッパ隊の吹奏に合わせて消防団本部および十二個分団、婦人消防協力隊が威風堂々の行進。特別点検などすべての演習の動作がきびきびと行われました。



## 少年消防クラブは 新たな誓いで活動を

上平沢地区の天八青空子ども会と滝名川子ども会は、昭和四十年から火災予防のため、夜回りなどの活動を行ってきました。昨年末には組織を強化し、自主防災組織として少年消防クラブを結成。そしてこの日、藤原町長から少年消防クラブ旗とはん天を交付され、六年生の小田島あゆみさんと渡辺真世さんが誓いの言葉を述べました。

# 消防演習

## 地震直後の訓練では 緊張感が漂う

消防署の警防活動訓練は、地震で倒壊した住宅に閉じこめられた人を救助、搬送する設定で、トタン屋根をチェーンソーで切り開き、脱出させた後、発生した火災に放水して消火活動をしました。五月二十六日に宮城県沖を震源とするマグニチュード7.0の地震が発生し、未だ余震が続く中での訓練で緊張感が漂います。



# 多くの人を悲しませる

まちの話題 2003

## 負傷者が出た場合も 応急処置は万全

婦人消防協力隊の皆さんは、演習参加者百九十人が三角巾を使い負傷個所に応じた縛り方を実践しました。また人形を使い固定金具と三角巾で応急処置をし、簡易担架を作って搬送する訓練の成果も披露しました。



## 演習の華 放水試験に歓声上がる

放水試験では三十四台の消防自動車が一斉に放水、最後に五色の放水も上がり、堤防に集まった見学者たちからは歓声がわき上がっていました。



## 学童安全連絡所

子どもたちが安全に通学できるように願う「危険を感じたら、助けを求めよう」

佐比内駐在所安全連絡協議会の主催で、佐比内小学校（伊藤文男校長、児童四十一人）の一年生十人が「学童安全連絡所」（こども110番の家）の役割について勉強しました。当日は、子どもたちが通学路などで危険な場面に遭ったとき、どのように対処するかを、菊池正彦駐在員や地域の人に教わりながら実際に歩きました。

佐比内地区の通学路はトラックの



交通量が多い国道があったり、片道四キロ以上歩いて通っている児童もいたり、またランドセルに熊よけの鈴を付けなければならぬ環境のもとにあります。この日は佐比内地区の藤井秀男防犯会長、多田恒夫交通安全協会会長をはじめ老人クラブの人たちが参加し、子どもたちを交通事故や犯罪から守っていくため地域全体で協力していくことを確認し合っていました。



赤石生活学校（代表熊谷紀さん、二十六人）では、昨年町が募集したマイバックキャラクターの優秀作「アップルン」を、自分たちの学習の中で買ひ物袋に手染めし、マイバックキャンペーンをさらに普及させるための活動をしています。メンバーの箱崎正子さんは「選ばれたキャラクターは、かわいらしいながらも地球全体の環境も考えたすばらしいデザインでした。皆さんで相談した結果、手染めすることになったんです。これが地域や行政と一緒にこの運動を推進するきっかけのひとつになればと願います」と話してくれました。赤石生活学校は環境問題や子育て支援など地域や生活の課題への取り組みを続けて十九年目になります。現在も「環境問題を身近なことから学習しよう。手作りおやつで子育て支援に協力しよう」をテーマに月に1回ほどのペースで実習を中心とした学習を活発に行っています。



## 赤石生活学校の手でアップルンがマイバックに

5/26

## 530 ごみゼロ運動行動日

5/30

五月三十日は「ごみゼロの日」です。この日に合わせ住民から報告があった土館字木金地内の不法投棄廃棄物の回収と周辺清掃が行われました。新山地区は、えこ3センターもあり、環境に対する意識の高い地域で、住民が中心となつてごみポイ捨て監視員、衛生組合、地元商工会員など総勢七十人ほどが参加し、回収作業に汗を流しました。ショベルカー一台、ごみ運搬用トラック八台を使い、大量のごみを搬出。驚いたことに現場の林の中からは農機具、冷蔵庫、ベッド、流し台、ガスボンベ、食器、タイヤ三十本など五トン以上のごみが出てきました。長年放置されていたとみられる廃棄物はさび付き異臭を放っていました。現場近くの監視員、工藤陶三郎さんは「見た目ではこんなにたくさん埋まっているとは思わなかったが、手をかけてみると次から次と出てくるのでびっくりしています」と。当初一時間で終了する予定でしたが、朝六時からはじめ、すべて矢巾の処理場に搬入できたのが十一時近くでした。美しい森を取り戻すため労を費やした人たちに感謝するとともに、不法投棄した人に憤りと無念さを感じる作業でした。





初夏を思わせる陽ざしの中、星山小学校（花籠和博校長、児童六十五人）の五年生二十一人が田植えを体験しました。学校前のきれいに代かきされた工藤信さんの田に植えたのは町が誇るヒメノモチです。始めに六年生が線引で基盤の目印をつけ、苗の植え方や足のつきかたを先生から教わった後、一斉にはだして田に入ってきました。見守っているお母さんたちが新たな苗を投げ入れるたびに泥がはねて大騒ぎでしたが、地域の人たちからも手伝ってもらったおかげで二時間ほどで三

アールの田植えが終わりました。少し曲がったうねですが、校長先生から教わったとおり、田を守って米を作ってくれる農家の人たちに感謝しながら心を込めて植えた苗です。元気に育って、秋の収穫祭でもちとして食べるのが待ち遠しいですね。また、この日午前中には、避難訓練が行われ「押さない、走らない、静かに、戻らない」の頭文字をとってお・は・し・も・の約束を守って校庭に避難しました。訓練の後は紫波消防署の消防自動車を間近で見学し、その装備に驚いていました。

## 日本人に大切なお米 秋には星山神楽で収穫祝い

5/21

## 長く愛され、親しまれる美酒を 全国蔵元フェスティバル

5/30・31

南部杜氏は現在三百人を数える日本最大の杜氏集団です。町出身の南部杜氏が精魂込めて仕込んだ北海道から四国までの百十五銘柄を味わえる蔵元フェスティバルが交流プラザ紫波で開催されました。今年で三回目を迎える蔵元フェスティバルは、町外にも評判で、チケットも早々に売り切れるほどです。杜氏の酒造り唄を聴きながら味わう日本酒は格別で、用意された四合びんは次々と空になっていき、気に入ったものを販売してほしいという声も多く聞かれました。会場の二割ほどを占める女性の参加者は、紫波の旬の食材を使った料理も楽しみにしていました。特に紫波牛のたたきやなめこと葉わさび合えが好評でした。恒例のお楽しみ抽選会では吟醸酒が両日とも五人にプレゼントされましたが、抽選番号が読み上げられるたびに歓声と落胆の声にぎやかに響いていました。





残たい日々の生活・風景などを  
あなたの秘蔵・自慢の写真で紹介

### まちに潤いをもたらす田植えの風景

内城弘隆さん(日詰)の作品



春、一斉に田に水が入り、高台から見ると町のほとんどが水でおおわれます。

その水面は陽ざしの方向によつてさまざまな表情を見せてくれます。星山地区の田には西の稜線に沈む夕陽の柔らかな陽ざしと長い長い影が映ります。遠くには岩手山、近くの城山とも合し重なる風景の中、田植えの作業が進みます。

あなたの作品をお待ちしています 応募先 〒028-3390 紫波町役場 環境課「紫波フオト歳時記」係 ☎672-2111 有線 01-8972

### [ 作品名 ]

#### 木彫サラダサーバー

どちらの作品もカツラの木を使い、糸のこ4種類のやすりで磨き、クルミの油を塗って仕上げています。



セーラームーンの魔法の杖を参考にデザインした柄は、模様を深く掘って浮き立たせたところに工夫がみえます。小さいころからピアノを習い、吹奏楽部ではコントラバスを担当し、将来も演奏家になりたいという夢もっています。

曲線を整えるのに苦労したそうですが、やすりがけが丁寧で手触りがとてもなめらかです。スポーツが得意で、野球部でレフトを守っています。まもなく始まる中総体とスポーツの県大会へ向けて練習の毎日です。

### [ 左の作品 ]

阿部裕樹さん

(紫波第一中学校3年)



### [ 右の作品 ]

長谷川千晶さん

(紫波第一中学校3年)



## オールコテージ 中高生の芸術